

試 験 地	受 験 番 号	氏 名

2 建学後

受験地変更者は上欄のほか、本日の受験地と仮受験番号を記入してください。

本日の受験地..... 仮受験番号 仮一.....

令和元年度

2 級建築施工管理技術検定試験 (後期)

学科試験問題

令和元年 11 月 10 日(日)

[注 意 事 項]

1. ページ数は、表紙を入れて 18 ページです。
2. 試験時間は、**10 時 15 分から 12 時 45 分**です。
3. 問題の解答の仕方は、次によってください。
 - イ. [No. 1]～[No. 14]までの 14 問題のうちから、**9 問題を選択し、解答**してください。
 - ロ. [No. 15]～[No. 17]までの 3 問題は、**全問題を解答**してください。
 - ハ. [No. 18]～[No. 32]までの 15 問題のうちから、**12 問題を選択し、解答**してください。
 - ニ. [No. 33]～[No. 42]までの 10 問題は、**全問題を解答**してください。
 - ホ. [No. 43]～[No. 50]までの 8 問題のうちから、**6 問題を選択し、解答**してください。
4. 選択問題は、解答数が**指定数を超えた場合、減点**となりますから注意してください。
5. 解答は、別の**解答用紙**に、[HB]の**黒鉛筆か黒シャープペンシル**で記入してください。
それ以外の**ボールペン・サインペン・色鉛筆**などを使用した場合は、**採点されません**。
6. 問題は、**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を次の例に従って塗りつぶしてください。
それ以外の場合は、**採点されない**ことがあります。

マーク例 ● 塗りつぶし

7. マークを訂正する場合は、消しゴムできれいに消して訂正してください。
8. 解答用紙は、雑書きしたり、よごしたり、折り曲げたりしないでください。
9. この問題用紙は、計算等に使用しても差し支えありません。
10. この問題用紙は、学科試験の試験終了時刻まで在席した場合に限り、持ち帰りを認めます。
途中退席する場合は、持ち帰りできません。

※ 問題番号 [No. 1] ~ [No. 14] までの 14 問題のうちから、9 問題を選択し、解答してください。

[No. 1] 日照及び日射に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 北緯 35 度付近の冬至における終日日射量は、南向きの鉛直面が他のどの向きの鉛直面よりも大きい。
2. 日照時間は、日の出から日没までの時間をいう。
3. 北緯 35 度付近の夏至における終日日射量は、東向きの鉛直面よりも水平面の方が大きい。
4. 大気透過率が高くなるほど、直達日射が強くなり、天空日射は弱くなる。

[No. 2] 昼光に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 直射日光は、大気を透過して直接地表に届く昼光の成分である。
2. 昼光率は、屋外の全天空照度が大きくなると、低くなる。
3. 室内のある点における昼光率は、時刻や天候によって変化しない。
4. 室内の要求される基準昼光率は、居間より事務室の方が高い。

[No. 3] 音に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 吸音率は、入射する音のエネルギーに対する反射音以外の音のエネルギーの割合である。
2. 床衝撃音には、重くて軟らかい衝撃源による重量衝撃音と、比較的軽量で硬い物体の落下による軽量衝撃音がある。
3. 単層壁の音響透過損失は、一般に、壁体の面密度が高くなるほど、大きくなる。
4. 劇場の後方部は、エコーを防ぐため、壁や天井に反射板を設置する。

[No. 4] 鉄筋コンクリート構造に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 耐震壁の壁量は、地震力などの水平力を負担させるため、下階よりも上階が多くなるようにする。
2. 大梁は、床の鉛直荷重を支えるとともに、柱をつなぎ地震力などの水平力にも抵抗する部材である。
3. 柱と梁の接合部を剛接合とした純ラーメン構造は、骨組みで地震力などの水平力に抵抗する構造である。
4. 床スラブは、床の鉛直荷重を梁に伝えるとともに、架構を一体化し地震力などの水平力に抵抗させる役割も持っている。

[No. 5] 鉄骨構造の一般的な特徴に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 軽量鉄骨構造に用いる軽量形鋼は、通常の形鋼に比べて、部材にねじれや局部座屈が生じやすい。
2. 鉄筋コンクリート構造に比べ、鉄骨構造の方が架構の変形能力が高い。
3. 鋼材は不燃材料であるため、骨組は十分な耐火性能を有する。
4. 鉄筋コンクリート構造に比べ、鉄骨構造の方が大スパンの建築物を構築できる。

[No. 6] 鉄骨構造に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 丸鋼を用いる筋かいは、主に引張力に働く部材である。
2. スチフナーは、節点に集まる部材相互の接合に用いられる鋼板である。
3. エンドタブは、溶接時に溶接線の始末端に取り付けられる補助部材である。
4. 裏当て金は、完全溶込み溶接を片面から行うために、溶接線に沿って開先ルート部の裏側に取り付けられる鋼板である。

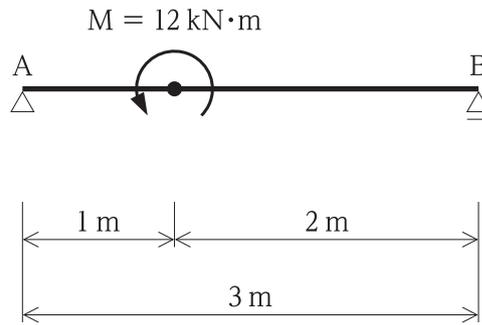
[No. 7] 基礎構造に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 独立フーチング基礎は、一般に基礎梁で連結する。
2. 同一建築物に杭基礎と直接基礎など異種の基礎を併用することは、なるべく避ける。
3. 直接基礎の鉛直支持力は、基礎スラブの根入れ深さが大きくなるほど大きくなる。
4. 直接基礎の底面は、冬季の地下凍結深度より浅くする。

[No. 8] 建築物の構造設計における荷重及び外力に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 地震力は、建築物の弾性域における固有周期及び地盤の種類に応じて算定する。
2. バルコニーの積載荷重は、共同住宅の用途に供する建築物より学校の方が大きい。
3. 多雪区域における地震力の算定に用いる荷重は、建築物の固定荷重と積載荷重の和に積雪荷重の $\frac{1}{2}$ を加えたものとする。
4. 建築物を風の方向に対して有効にさえぎる防風林がある場合は、その方向における速度圧を $\frac{1}{2}$ まで減らすことができる。

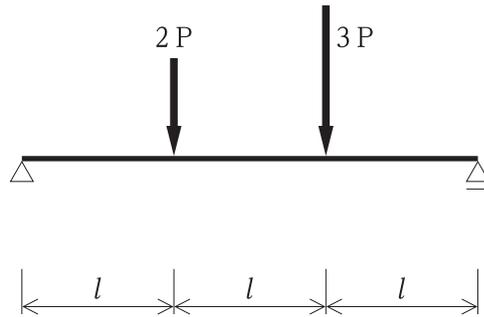
[No. 9] 図に示す単純梁にモーメント荷重が作用したとき、支点Bに生じる鉛直反力の値の大きさとして、正しいものはどれか。



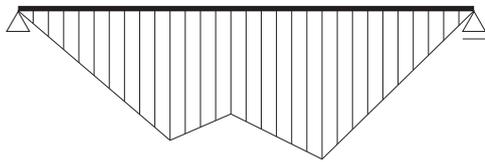
1. 12 kN
2. 6 kN
3. 4 kN
4. 3 kN

[No. 10] 図に示す単純梁に集中荷重 $2P$ 及び $3P$ が作用したときの曲げモーメント図として、正しいものはどれか。

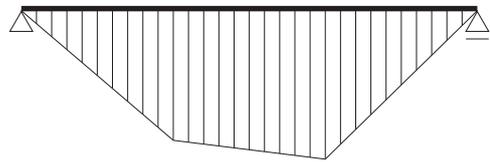
ただし、曲げモーメントは材の引張側に描くものとする。



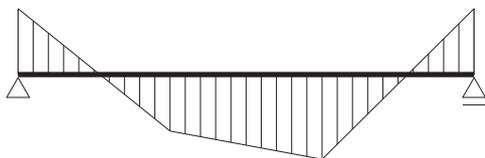
1.



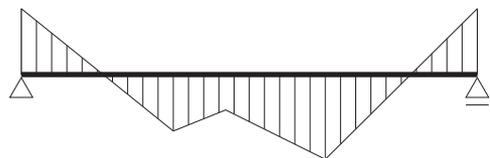
2.



3.



4.



[No. 11] JIS（日本工業規格／現日本産業規格）に規定する構造用鋼材に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 建築構造用圧延鋼材は、SN 材と呼ばれ、性能により A 種、B 種、C 種に分類される。
2. 溶接構造用圧延鋼材は、SM 材と呼ばれ、溶接性に優れた鋼材である。
3. 建築構造用炭素鋼鋼管は、STKN 材と呼ばれ、材質を SN 材と同等とした円形鋼管である。
4. 一般構造用圧延鋼材は、SSC 材と呼ばれ、一般的に使用される鋼材である。

[No. 12] JIS（日本工業規格／現日本産業規格）に規定する建具の試験項目と測定項目の組合せとして、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 結露防止性試験 —— 熱貫流率
2. 耐風圧性試験 —— 変位・たわみ
3. 気密性試験 —— 通気量
4. 水密性試験 —— 漏水

[No. 13] シーリング材の特徴に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. ポリサルファイド系シーリング材は、表面の仕上塗材や塗料を変色、軟化させることがある。
2. ポリウレタン系シーリング材は、ガラスまわり目地に適している。
3. シリコン系シーリング材は、紫外線による変色が少ない。
4. アクリルウレタン系シーリング材は、表面にタックが残ることがある。

[No. 14] カーペットに関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. タフテッドカーペットは、パイル糸をうね状に並べて基布に接着固定した敷物である。
2. ウィルトンカーペットは、基布とパイル糸を同時に織り込んだ、機械織りの敷物である。
3. ニードルパンチカーペットは、シート状の繊維で基布を挟み、針で刺して上下の繊維を絡ませた敷物である。
4. タイルカーペットは、バックング材を裏打ちしたタイル状敷物である。

※ 問題番号 [No. 15] ~ [No. 17] までの3問題は、全問題を解答してください。

[No. 15] 屋外排水設備に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 地中埋設排水管の長さが、その内径又は内法幅の120倍を超えない範囲内で、柵又はマンホールを設ける。
2. 地中埋設排水経路に柵を設ける場合、雨水柵にはインバートを、汚水柵には泥だめを設ける。
3. 排水管を給水管に平行して埋設する場合、原則として、両配管は500mm以上のあきを設ける。
4. 地中埋設排水経路が合流する箇所には、柵又はマンホールを設ける。

[No. 16] 照明設備に関する一般的な記述として、最も不適当なものはどれか。

1. LEDは、高効率で他の照明器具に比べ寿命が長く、省エネ対策として広く用いられる。
2. Hf蛍光ランプは、ちらつきが少なく、主に事務所などの照明に用いられる。
3. ハロゲン電球は、低輝度であり、主に道路やトンネルの照明に用いられる。
4. メタルハライドランプは、演色性がよく、主にスポーツ施設などの照明に用いられる。

[No. 17] 空気調和設備に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 単一ダクト方式におけるCAV方式は、室内に吹き出す風量が一定であり、室内環境を一定に保つことができる。
2. 二重ダクト方式は、別々の部屋で同時に冷房と暖房を行うことができる。
3. パッケージユニット方式は、熱源機器でつくられた冷水や温水を各室のパッケージユニットに供給し、冷風や温風が吹き出るようにしたものである。
4. 各階ユニット方式は、各階ごとに空調機を分散設置して空調を行う方式で、各階ごとの負荷変動に対応できる。

※ 問題番号 [No. 18] ~ [No. 32] までの 15 問題のうちから、12 問題を選択し、解答してください。

[No. 18] やり方及び墨出しに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 水貫は、水杭に示した一定の高さに上端を合わせて、水杭に水平に取り付ける。
2. やり方は、建物の高低、位置、方向、心の基準を明確にするために設ける。
3. 高さの基準点は、複数設置すると相互に誤差を生じるので、設置は 1 箇所とする。
4. 鋼製巻尺は、同じ精度を有する巻尺を 2 本以上用意して、1 本は基準巻尺として保管する。

[No. 19] 地業工事に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 砂利地業に用いる再生クラッシュランは、岩石を破碎したものであり、品質にばらつきがある。
2. 土間コンクリートの下の防湿層は、断熱材がある場合、断熱材の直下に設ける。
3. 砂利地業の締固めは、床付地盤を破壊したり、さらに深い地盤を乱さないよう、注意して行う。
4. 砂利地業の締固めによるくぼみが生じた場合は、砂又は砂利を補充して再度転圧する。

[No. 20] 異形鉄筋の加工に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 鉄筋の加工寸法の表示及び計測は、突当て長さ（外側寸法）を用いて行う。
2. 鉄筋の種類と径が同じ帯筋とあばら筋は、折曲げ内法直径の最小値は同じである。
3. 壁の開口部補強筋の末端部には、フックを付けなければならない。
4. 鉄筋の折曲げ加工は、常温で行う。

[No. 21] 型枠支保工に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 支柱にパイプサポートを使用する場合、継手は差込み継手としてはならない。
2. 支柱にパイプサポートを使用する場合、パイプサポートを 3 以上継いで用いてはならない。
3. 柱、壁及び梁側型枠のせき板を保持する場合、支保工は一般に内端太及び外端太により構成する。
4. 軽量型支保梁を受ける梁型枠の支柱にパイプサポートを使用する場合、パイプサポートは 2 列に設ける。

[No. 22] コンクリートの養生に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 湿潤養生期間の終了前であっても、コンクリートの圧縮強度が所定の値を満足すれば、せき板を取り外すことができる。
2. 打込み後のコンクリートが透水性の小さいせき板で保護されている場合は、湿潤養生と考えてよい。
3. 早強ポルトランドセメントを用いたコンクリートの材齢による湿潤養生期間は、普通ポルトランドセメントより短くできる。
4. 寒中コンクリート工事における加熱養生中は、コンクリートの湿潤養生を行わない。

[No. 23] 鉄骨の建方に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 溶接継手のエレクションピースに使用する仮ボルトは、高力ボルトを用いて全数締め付けた。
2. ターンバックル付き筋かいを有する鉄骨構造物は、その筋かいを用いて建入れ直しを行った。
3. 柱現場溶接接合部に建入れ及び食違い調整機能の付いた治具を使用したため、ワイヤロープを用いず、建入れ直しを行った。
4. 建方精度の測定は、温度の影響を避けるため、早朝の一定時間に実施した。

[No. 24] 在来軸組構法の木工事に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 土台を固定するアンカーボルトは、土台の両端部や継手の位置、耐力壁の両端の柱に近接した位置に設置した。
2. 柱に使用する心持ち材には、干割れ防止のため、見え隠れ部分に背割りを入れた。
3. 根太の継手は、大引の心を避けて突付け継ぎとし、釘打ちとした。
4. 軒桁の継手は、柱心から持ち出して、追掛け大栓^{せん}継ぎとした。

[No. 25] シーリング工事に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 充填箇所以外の部分に付着したシリコン系シーリング材は、硬化後に除去した。
2. 目地深さがシーリング材の寸法より深かったため、ボンドブレイカーを用いて充填深さを調整した。
3. ノンワーキングジョイントでは、3面接着で施工した。
4. コンクリート打継目地のシーリング目地幅は、20 mm とした。

[No. 26] セメントモルタルによるタイル後張り工法に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 改良積上げ張りは、張付けモルタルを塗り付けたタイルを、下部から上部に張り上げる工法である。
2. 密着張りは、下地面に張付けモルタルを塗り付け、振動機を用いてタイルを張り付ける工法である。
3. マスク張りは、下地面に張付けモルタルを塗り付け、表張りユニットをたたき込んで張り付ける工法である。
4. 改良圧着張りは、下地面とタイル裏面とに張付けモルタルを塗り付け、タイルを張り付ける工法である。

[No. 27] 金属製折板葺の工法に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 重ね形折板のボルト孔は、折板を1枚ずつ、呼び出しポンチで開孔した。
2. 重ね形折板は、各山ごとにタイトフレーム上の固定ボルトに固定した。
3. 折板葺のけらばの変形防止材には、折板の3山ピッチ以上の長さのものを用いた。
4. 折板葺の棟包みの水下側には、雨水を止めるために止水面戸を用いた。

[No. 28] 床コンクリートの直均し仕上げに関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 床仕上げレベルを確認できるガイドレールを、床コンクリートを打ち込んだ後に4m間隔で設置した。
2. コンクリート面を指で押しても少ししか入らない程度になった時に、木ごてで中むら取りを行った。
3. 機械式ごてを用いた後、最終仕上げは金ごて押えとした。
4. 張物下地は、最終こて押えの後、12時間程度を経てから、3日間散水養生を行った。

[No. 29] 建具工事に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 鋼製両面フラッシュ戸の表面板裏側の見え隠れ部分は、防錆塗装を行わなかった。
2. 木製フラッシュ戸の中骨は、杉のむく材を使用した。
3. アルミニウム製建具のアルミニウムに接する小ねじは、垂鉛めっき処理したものを使用した。
4. 樹脂製建具は、建具の加工及び組立てからガラスの組込みまでを建具製作所で行った。

[No. 30] 木部の塗装工事に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. オイルステイン塗りは、耐候性が劣るため、建築物の屋外には使用しなかった。
2. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの下塗り後のパテかいは、耐水形の合成樹脂エマルジョンパテを使用した。
3. クリヤラッカー塗りの下塗り材は、サンジングシーラーを使用した。
4. 木材保護塗料塗りにおいて、塗料は希釈せず原液で使用した。

[No. 31] カーペット敷きに関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. タイルカーペットは、粘着はく離形の接着剤を用いて張り付けた。
2. 全面接着工法によるカーペットは、ニーキッカーを用いて、十分伸長させながら張り付けた。
3. グリッパー工法のグリッパーは、壁際からのすき間を均等にとって打ち付けた。
4. ウィルトンカーペットは、はぎ合わせを手縫いでつづり縫いとした。

[No. 32] モルタル塗り仕上げ外壁の改修におけるアンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. モルタルの浮き部分に使用するアンカーピンの本数は、一般部分を16本/m²とした。
2. アンカーピン固定部の穿孔の深さは、構造体コンクリート面から30mmとした。
3. 穿孔後は、孔内をブラシで清掃し、圧搾空気で接着の妨げとなる切粉を除去した。
4. アンカーピン固定用エポキシ樹脂は、手動式注入器を用いて、孔の表面側から徐々に充填した。

※ 問題番号 [No. 33] ~ [No. 42] までの 10 問題は、全問題を解答してください。

[No. 33] 施工計画と事前調査の組合せとして、最も関係の少ないものはどれか。

1. 場所打ちコンクリート杭工事の計画 —— 敷地内の地中障害物の有無の調査
2. 鉄骨の建方計画 —— 近隣の商店や工場の業種の調査
3. 地下水の排水計画 —— 公共枿の有無と下水道の排水能力の調査
4. 山留工事の計画 —— 試験掘削による土質性状の追加調査

[No. 34] 仮設計画に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 工事用ゲートを複数設置するため、守衛所をメインのゲート脇に設置し、その他は警備員だけを配置することとした。
2. 作業員詰所は、職種数や作業員の増減に対応するため、大部屋方式とすることとした。
3. 塗料や溶剤等の保管場所は、管理をしやすくするため、資材倉庫の一角を不燃材料で間仕切り設置することとした。
4. 工事用ゲートにおいて、歩行者が多いため、車両の入退場を知らせるブザー及び標示灯を設置することとした。

[No. 35] 工事現場における材料の保管に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 鉄筋は、直接地面に接しないように角材間に渡し置き、シートを掛けて保管した。
2. 壁紙は、ポリエチレンフィルムを掛けて養生し、屋内に立てて保管した。
3. ALC パネルは、台木を水平に置いた上に平積みで保管した。
4. ガラスは、クッション材を挟み、屋内の乾燥した場所に平積みで保管した。

[No. 36] 総合工程表の立案段階で考慮すべき事項として、最も必要性の少ないものはどれか。

1. 敷地周辺の上下水道，ガス等の公共埋設物
2. 敷地周辺の電柱，架線等の公共設置物
3. コンクリート工事の検査項目
4. 使用揚重機の能力と台数

[No. 37] バーチャート工程表に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 作業進行の度合い，工期に影響する作業やクリティカルパスが把握しやすい。
2. 作業の流れ，各作業の所要日数や施工日程が把握しやすい。
3. 手軽に作成することができ，視覚的に工程が把握しやすい。
4. 出来高の累計を重ねて表現したものは，工事出来高の進ちよく状況が把握しやすい。

[No. 38] 品質管理に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 品質管理とは，工事中に問題点や改善方法などを見出しながら，合理的，かつ，経済的に施工を行うことである。
2. PDCA サイクルを繰り返すことにより，品質の向上が図れる。
3. 作業そのものを適切に実施するプロセス管理に重点をおくより，試験や検査に重点をおく方が有効である。
4. 施工の検査に伴う試験は，試験によらなければ品質及び性能を証明できない場合に行う。

[No. 39] トルシア形高力ボルトの1次締め後に行う，マーキングに関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. マークによって，1次締め完了の確認ができる。
2. マークのずれによって，本締め完了の確認ができる。
3. マークのずれによって，軸回りの有無の確認ができる。
4. マークのずれによって，トルク値の確認ができる。

[No. 40] 品質管理のための試験又は検査に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 鉄骨工事の現場隅肉溶接は，浸透探傷試験により確認した。
2. 造作用の木材は，含水率を高周波水分計により確認した。
3. 鉄筋のガス圧接部は，全数を外観試験により確認した。
4. 摩擦杭の周面摩擦力は，すべり係数試験により確認した。

[No. 41] 建築工事における危害又は迷惑と、それを防止するための対策に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 掘削による周辺地盤の崩壊を防ぐために、防護柵を設置した。
2. 落下物による危害を防ぐために、足場の外側面に工事用シートを設置した。
3. 工事用車両による道路面の汚れを防ぐために、洗車場を設置した。
4. 解体工事による粉塵の飛散を防ぐために、散水設備を設置した。

[No. 42] 高所作業車を用いて作業を行う場合、事業者の講ずべき措置として、「労働安全衛生法」**上、定められていないもの**はどれか。

1. 高所作業車は、原則として、主たる用途以外の用途に使用してはならない。
2. 高所作業車の乗車席及び作業床以外の箇所に労働者を乗せてはならない。
3. その日の作業を開始する前に、高所作業車の作業開始前点検を行わなければならない。
4. 高所作業等作業主任者を選任しなければならない。

※ 問題番号 [No. 43] ~ [No. 50] までの 8 問題のうちから、6 問題を選択し、解答してください。

[No. 43] 用語の定義に関する記述として、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 大規模の修繕とは、建築物の主要構造部の 1 種以上について行う過半の修繕をいう。
2. 設計者とは、その者の責任において、設計図書を作成した者をいう。
3. 建築設備は、建築物に含まれる。
4. コンビニエンスストアは、特殊建築物ではない。

[No. 44] 居室の採光及び換気に関する記述として、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 採光に有効な部分の面積を計算する際、天窗は実際の面積の 3 倍の面積を有する開口部として扱う。
2. 換気設備のない居室には、原則として、換気に有効な部分の面積がその居室の床面積の $\frac{1}{20}$ 以上の換気のための窓その他の開口部を設けなければならない。
3. 地階に設ける居室には、必ずしも採光を確保するための窓その他の開口部を設けなくてもよい。
4. 病院の診察室には、原則として、採光のための窓その他の開口部を設けなければならない。

[No. 45] 建設業の許可に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

1. 2 以上の都道府県の区域内に営業所を設けて営業しようとする者が建設業の許可を受ける場合には、国土交通大臣の許可を受けなければならない。
2. 建築工事業で特定建設業の許可を受けている者は、土木工事業で一般建設業の許可を受けることができる。
3. 解体工事業で一般建設業の許可を受けている者は、発注者から直接請け負う 1 件の建設工事の下請代金の総額が 3,000 万円の下請契約をする場合には、特定建設業の許可を受けなければならない。
4. 建築工事業で一般建設業の許可を受けている者は、発注者から直接請け負う 1 件の建設工事の下請代金の総額が 6,000 万円の下請契約をする場合には、特定建設業の許可を受けなければならない。

[No. 46] 建設工事の請負契約書に記載しなければならない事項として、「建設業法」上、定められていないものはどれか。

1. 工事着手の時期及び工事完成の時期
2. 工事の履行に必要となる建設業の許可の種類及び許可番号
3. 契約に関する紛争の解決方法
4. 工事内容及び請負代金の額

[No. 47] 労働契約に関する記述として、「労働基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 使用者は、労働することを条件とする前貸の債権と賃金を相殺することができる。
2. 使用者は、労働契約に附随して貯蓄の契約をさせてはならない。
3. 労働者は、使用者より明示された労働条件が事実と相違する場合においては、即時に労働契約を解除することができる。
4. 使用者は、労働契約の不履行について違約金を定める契約をしてはならない。

[No. 48] 事業者が、新たに職務に就くことになった職長に対して行う安全衛生教育に関する事項として、「労働安全衛生法」上、定められていないものはどれか。

ただし、作業主任者を除く。

1. 作業方法の決定に関すること
2. 労働者に対する指導又は監督の方法に関すること
3. 危険性又は有害性等の調査に関すること
4. 作業環境測定の実施に関すること

[No. 49] 産業廃棄物の運搬又は処分の委託契約書に記載しなければならない事項として、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」上、**定められていないものはどれか。**

ただし、特別管理産業廃棄物を除くものとする。

1. 委託する産業廃棄物の種類及び数量
2. 産業廃棄物の運搬を委託するときは、運搬の方法
3. 産業廃棄物の処分を委託するときは、処分の方法
4. 委託者が受託者に支払う料金

[No. 50] 次の資格者のうち、「消防法」上、**定められていないものはどれか。**

1. 消防設備点検資格者
2. 建築設備等検査員
3. 消防設備士
4. 防火対象物点検資格者